

中野市保育所運営審議会（第1回）議事録要旨

平成19年6月8日（金）午後3時30分
市民会館45号会議室

出席委員

（外谷良弘、渡邊由美子、柴本貞夫、高田幸江、石澤さとみ、
久保賢一、高相淳子）

欠席委員（宮寄三雄）

事務局

（高野子ども部長、塚田保育課長、花岡課長補佐、土屋保育係長、
小林主査）

- 1 市長から各委員へ委嘱状の交付 午後3時30分～
 - 2 開会（事務局：子ども部長 進行） 午後3時35分～
 - 3 市長あいさつ
 - 4 自己紹介 委員→事務局
 - 5 正副会長の選出
委員の互選により、会長に宮寄三雄氏、副会長に高相淳子氏を選出
 - 6 副会長あいさつ（会長欠席による）
 - 7 諮問（市長が諮問書を副会長に提出）
 - 8 諮問書朗読（保育係長）
- 市長退室—
- 9 協議事項（副会長 進行） 午後3時50分～
（1）中野市保育料等について（保育係長）

(2) 質疑応答 午後4時15分～

質疑内容 (抜粋・要略)

- 事務局の説明が終了しました。委員の皆様から、質問・ご意見がありましたらお願いします。(副会長)
- この膨大な資料を一度に説明されてもすぐには理解できず、質問もすることができません。(委員)
- 次回審議会までに目を通していただき、ご質問を受ける形にしたいと思います。本日は気がついたことがあればということをお願いいたします。(保育課長)
- 資料19【保育所の運営に係る予算のしくみ】の中で、市義務負担というのは交付税のことですか。(委員)
- 平成16年から三位一体の改革で平成15年ベースで2億円ほどの補助金がカットされました。その分交付税措置ということになっています。実際交付金としていくら入ったかというのは担当課でも把握しておりません。(保育課長)
- 支弁額というのは、国が必要と認めた経費をいいます。それ以外は地元のサービス分となります。三位一体の改革の前は、国徴収金を除いた2/4が国庫負担金、1/4が県負担金、1/4が市負担金という明確なルールがありました。現在私立保育園分についてはこれが適用されていますが、公立分については交付税措置がされているということになっています。実際にいくらであるかは明確ではありません。(子ども部長)
- 資料7【19市保育料軽減額等調書】で、中野市は一人当たりの月平均保育料が安いほうから3番目となっていて、諏訪市が一番高い保育料であります。資料8【19市保育料最高額・改定率等調書】をみると、中野市と諏訪市の数値がさほどかわりがないのに、どうしてこのような差があるのでしょうか。(委員)

- 資料 17【中野市階層区分分布表】を見ていただきますと、中野市は一番高い保育料である第7階層に45人います。一番人数の多いところは第5階層の312人であります。この階層の割合で平均保育料の変動があります。高い階層に子どもさんが多いと平均保育料も上がります。(子ども部長)
- 長時間保育で、今までは午前だけでも午後だけでもその利用料は満額徴収していたのですか。(委員)
- はいそうです。今までは午前・午後という区分がありませんでした。又午前中だけ午後だけといいましても保育士の配置もしておりますので満額いただいております。園長会から保護者の方の意見が多いということで取り入れたわけであります。(保育課長)
- それでは今後保護者の負担軽減になるのですね。(委員)
- はい。負担軽減につながると思っております。(保育課長)
- 意見なのですが、長時間保育の利用する時間帯が朝は8時から夕方は4時30分からとなっています。女性の1日8時間労働という観点からみると矛盾していると思います。これからの女性の労働力や勤務時間帯等を考慮し、通常保育の時間帯をもっと真剣に考えてほしいと思います。(委員)
- 国の少子化対策で平成18年度の出生率がいくらかあがったと聞いていますが、中野市はどうでしょうか。(委員)
- 人口動態数値では概数で国が1.32 県が1.44 で示されました。国は0.06あがりましたが、県は0.02下がっています。中野市のデータがまだ国からきておりませんのでここでお示しできませんが、生まれた子どもの数は平成17年と平成18年を比べますと3-40人ほど増えております。(子ども部長)
- 増えたのはいいと思いますが、それは偶然のものなのか、世の中の動きによる成果なのかどのようにお考えでしょうか。(委員)
- 2-3年の経過をみなければと思っております。しかし着実に子育てをす

る環境が整いつつあると認識し、子どもが増えている途中経過であるにとらえています。(子ども部長)

- 最近のニュースを聞いていると、お母さんが一人で育児を担当すると、もうこりごりだと思える人が増えているということです。その事が原因で出生率が下がっているのなら、中野市は今回のリフレッシュによる一時的保育を取り入れてくださり感謝をしています。又アパートのような狭い場所で一人で育児をし、いきづまってしまうという話題も多いわけですが、中野市はいち早く子育て支援センター事業を取り入れていただき、年々増加傾向にあると聞いています。これもほんとうにありがたいことだと思っています。

(委員)

- 国では2人入園している場合、年齢の高い児童を軽減していますが、中野市は国を超えて逆に年齢の低い児童(保育料の高い児童)の軽減措置をとっています。又これから幼稚園等に入園している場合でも軽減されることとなります。リフレッシュ保育も利用していただき、孤独な子育てをすることなく、よりよい環境での子育てを応援してまいりたいと思います。

(子ども部長)

- 他になにかご意見、ご質問がある方はお願いいたします。(副会長)
- 他に質問がなければ、質疑を終結いたします。(副会長)

(3) その他 松川保育園の定員について説明(保育係長)

- ご質問をお受けします。(副会長)
- ご質問がなければ協議事項は終了します。(副会長)

10 報告事項 午後4時40分～

- 保育所整備計画策定について説明(保育課長補佐)
- ご質問をお受けします。(副会長)
- 今後の予定はどうか。(委員)

○ 現在整備計画原案を策定中であります。今後早ければ7月から9月の間で当審議会へ諮問し、答申をいただきたいと思っております。(保育課長補佐)

○ ご質問がなければ報告事項は終了いたします。(副会長)

1 1 その他 午後4時55分～

○ 次回開催日及び報償費の支払いについて説明
(保育課長・保育係長)

閉会 (副会長) 午後4時58分